

株式会社新和建設

SDGsの取組

取組・活動内容	株式会社新和建設は、地域の工務店のトップランナーとして住宅に関わる事業を通じ、地球環境への配慮や快適な住まいの提案、提供、CS実現を図ると共に、誰もが安心して健康に暮らすことができる社会を目指し、SDGsに積極的に取り組んでいます。			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	3、7、11	「経済的かつ耐久性の高い住まいづくり」 構造や内装には国産材を使用し、国際基準に基づいた構法や制振装置で災害にも強く、100年先も住み続けられる住まいづくりを行っています。さらに、高断熱でありZEHやLCCM住宅といった省エネ住宅の普及により、ランニングコストを抑え、経済的にも優しい住まいを実現しています。	ZEH普及率 22% (2020年) →100% (2030年) LCCM住宅 11棟 (2020年) →30棟 (2030年)
	社会	4、9、10	「大工育成システム」 近年危機的状況にある伝統的な職人技術の継承を行うため毎年、工業高校や大卒の新入社員を大工研修生として迎え入れ、自社独自のカリキュラムで大工棟梁を育成しています。 「子ども大工アカデミー」 木のモノづくりを通して子どもから親世代にも国産材利用の関心や職人技術を体感してもらうプロジェクト。実際に新和建設の大工棟梁と一緒にイスづくりや、丸太切りをし、大工の仕事やモノづくりの楽しさを実感してもらう。それによって大工に興味を持ってもらい、職人技術の継承につなげています。	大工研修生入社人数 3人 (2021年) →4人 (2030年) 子ども大工アカデミー開催 6回 (2021年) →12回 (2030年)
	環境	12、13、14、15	「豊かな緑を守る」 住まいづくりに国産材を使用することで、山の元気を取り戻し、林業の活性化や環境を守ります。また、森林ツアーや地域の小学校を対象に木についての講義を行い、日本の山林を守る意識を持ってもらう活動を行っています。 「CO2削減の取り組み」 カーボンオフセット運動という、新和建設が建てる住宅において、地球温暖化の原因ともなっているCO2削減を努める一方、どうしてもそれだけでは削減できないCO2分を地元の岐阜県白川町が行っているCO2吸収の取り組みを応援することで、CO2排出量の削減に貢献し、オフセット(CO2ゼロ)にする活動を行っています。 また国産材の家づくりを通してCO2を固定化し、NPO法人地球の会「日本の木の家CO2固定量認証制度」に認証されています。	森林ツアー実施 3回/年 カーボンオフセット実績 15棟 (2020年) →30棟 (2030年)